

平成 2 6 年度医学研究科自己点検評価書

項 目	取組内容（成果、課題など）	根拠資料	
基準 4 学生の受入 4-1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、それに沿って、適切な学生の受入が実施されていること。 4-2 実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっていること。	入学者選抜の改善に繋がった取組 ○将来を担う人材を幅広く確保するため、平成 2 7 年度大学院入試から学力試験科目（外国語（英語）において、TOEIC のスコア又は TOEFL のスコアを提出することにより、外国語（英語）試験に換算できるように試験方法を増やした。（従来の筆記試験も選択できる） ○医科学専攻、再生医科学専攻（博士前期・博士後期）を合わせた定員充足率については、平成 2 6 年度は 7 8 % となっており、課題となった。	大学院募集要項（TOEIC, TOEFL 部分抜粋）（資料 1）	医学研究科の取り組みを示すポンチ絵（公表用 1 枚）
基準 5 教育内容及び方法 5-2 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。（学士課程） 5-5 教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等（研究・論文指導を含む。）が整備されていること。（大学院課程）	教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等 ○平成 2 6 年度から博士課程の学生に対する英語教育で基礎から臨床まで、幅広く最新の医学研究に触れることを目的に、大学院講義「ADAMS」を開講した。（大学院課程）	大学院シラバス（抜粋）（資料 2）	
基準 6 学習成果 6-1 教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。 6-2 卒業（修了）後の進路状況等から判断して、学習成果が上がっていること。	学習成果の向上に繋がった取組 ○平成 2 6 年度から大学院教育の国際化を目指した英語による講義、英語による学会発表、議論に習熟させることを目的とする大学院講義「Advanced English Seminar」を開講した。 ○再生医科学専攻（博士前期課程）の学生について修了時に就職・進路先調査を行った結果、専攻分野及び関連分野に修了生 8 名中 7 名が就職・進学していることを確認した。	大学院シラバス（抜粋）（資料 3） 学校基本調査（卒業後の状況調査）（資料 4）	
基準 8 教育の内部質保証システム 8-1 教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための体制が整備され、機能していること。 8-2 教員、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、教育の質の改善・向上を図るための取組が適切に行われ、機能していること。	教育の質の改善に繋がる取組 ○リフレクションペーパーを活用して、授業をわかりやすくするための工夫を共有した。 ○平成 2 6 年度は連合創薬医療情報研究科との共催で「レギュラトリサイエンスに関する FD」を開催した。学生及び教職員等 2 5 名の参加があり、レギュラトリサイエンスに対する共通理解・認識について、その理解度を高めた。	リフレクション結果（資料 5） FD 資料（資料 6）	



医学研究科自己点検評価書

基準 4 学生の受入

入学者選抜の改善に繋がった取組

- ・ 学力試験科目（外国語（英語））にTOEIC又はTOEFLを導入

課題

定員充足率の確保

基準 5 教育内容及び方法

教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等

- ・ 博士課程の学生を対象に大学院講義「ADAMS」を開講

基準 8 教育の内部質保証システム

教育の質の改善に繋がる取組

- ・ リフレクションペーパーを活用
- ・ FDを開催

基準 6 学習成果

学習成果の向上に繋がった取組

- ・ 修士課程の学生を対象に「Advanced English Seminar」を開講